

略年譜

1872(明治 5) 5月17日、新潟県中頸城郡馬屋村(現在の
上越市清里区馬屋)の風間家の二男と
して生まれる

1893(明治26) 新潟県尋常師範学校を卒業、糸魚川高等
小学校に訓導として赴任。当時10歳の
相馬昌治(御風)少年が在籍

1896(明治29) 能生町尋常高等小学校に校長兼訓導とし
て赴任。当時糸魚川町長であった江田益盛
の長女と結婚、江田姓となり家督を継ぐ

1898(明治31) 新潟県師範学校附属小学校に訓導とし
て赴任

1899(明治32) 東京高等工業学校(東京工業大学の前身)
附設工業教員養成所に進学

1901(明治34) 養成所本科応用化学科卒業後、醸造法専
攻のため研究生として在学し翌35年卒。

1903(明治36) 東京税務監督局に勤務

1905(明治38) 前年設立の大蔵省所管研究機関である
醸造試験所に着任

1909(明治42) 速醸酀の開発。日本全国の蔵元に技術
指導で飛びまわる

1913(大正 2) 醸造試験所専任となる

1916(大正 5) 勲六等瑞宝章受章

1923(大正12) 醸造試験所醸造科長となる

1929(昭和 4) 醸造試験所退官。灘・伏見の酒蔵3社から
醸造場顧問に招聘される

1931(昭和 6) 大阪工業大学講師

1933(昭和 8) 大阪帝国大学工学部醸造学科講師、江
田醸造研究所設立

1955(昭和30) 紫綬褒章受章

1957(昭和32) 5月8日、満84歳で逝去
業績を顕彰する賞として日本生物工学会
による生物工学奨励賞(江田賞)創設

豆知識 ②

鎌治郎の義父である益盛は江戸時代の糸魚川藩の重臣、明治維
新後は大区長、糸魚川町長や越後銀行頭取など要職を務めた人物
で、清崎の善導寺には顕彰碑があります。鎌治郎は中頸城郡の生ま
れですが、糸魚川の江田家の家督を継いだため、本人も糸魚川出身
であるとしています。

坂口謹一郎が江田鎌治郎の喜寿を祝した歌

このくににきみかたえわさなりしより
さけのつくりはやすけくなりぬ

あなたの優れた技術が完成してから我国の酒造り
は安定しました

推進しよう!

糸魚川 地酒で乾杯宣言



天皇陛下御即位記念

第34回 国民文化祭・にいがた2019

文化ふっかつ新潟!

第19回 全国障害者芸術・文化祭にいがた大会

上越市で開催される越後・謙信SAKEまつり
2019にあわせて次の事業を行います。

「発酵の力」パネル展

発酵文化や坂口謹一郎、川上善兵衛、江田鎌治
郎など地域の先人の功績を紹介します。

- と き 10月19日① 11:00~19:00
20日② 10:00~16:00
- ところ 高田まちかど交流館(上越市本町)

「発酵の力」ブース

発酵食品の紹介・販売を行います。

- と き 10月19日① 11:00~20:00
20日② 10:00~16:00
- ところ 高田本町商店街(上越市本町)

問合せ 文化振興課 文化行政係 ☎552-1511